

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	美術 I	2	1年次・A群	選択必履修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
美術 1（光村図書）		（アクリル絵の具セット、粘土、和紙、画用紙類）		1年次必履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点	
						学習のねらい
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	1 オリエンテーション 2 デッサンの基礎 (1) 鉛筆の削り方 (2) 明暗のグラデーション (3) 立方体を描こう デザイン 3 メッセージを広く伝える (1) 鑑賞 (2) 色彩の学習（トーンについて） 平塗りの技法について (3) 構想 (4) 制作	4	<ul style="list-style-type: none"> 描画に使用する鉛筆の削り方を習得し、目的に応じた使い方が理解できるようにする。 鉛筆の濃淡がもたらす造形的な見え方の違いなどを感じ取り、創造的な表現に活用しようとしている。 色が感情にもたらす効果を理解できるようにする。 内容を伝える効果的な配色、構成などを考え、創造的な構想を練る。 	1 3 1 2 3 1 2 3	
			5		2 3 1 2 3 1 2 2 3 1 2 3	
			6			
	2 学 期	彫刻	4 生命感をあらわす (1) 鑑賞 (2) 張り子の技法について (3) 油粘土による成型 (4) 制作	9	<ul style="list-style-type: none"> 生き物から感じ取った生命感を、立体感や量感に留意して表現するという意識を持つようにする。 材料の特性を生かし、質感や量感、動きなどを意識し、創造的な表現の構想を練る。 	2 3 1 2 1 2 3 1 2 3
				12		2 3 2 3
		鑑賞	5 自己をあらわす (1) 作品鑑賞 (2) 感想の交流			
3 学 期	絵画	6 身近なものを描く (1) 下塗りについて (2) 明暗の描写 (3) 制作	1	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものを見つめ、感じ取った特徴や自分の思いなどから、主題を生成し、色や構図などを意識ながら創造的な表現の構想を練る。 	1 2 1 2 3 1 2 3	
	映像メディア	7 アニメーションを作ろう (1) 鑑賞 (2) パラパラまんがの制作	2	<ul style="list-style-type: none"> アニメーションの仕組みや造形的な特徴を知る。 アニメーションならではの動きなどを基にした表現に取り組む。 	2 3 1 2 3	

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
学習 評価	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫について考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ることができているか。 ○美術や美術文化に対する見方や考え方を深めているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。
	手 段	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の様子 ・ワークシート ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の様子 ・ワークシート ・作品
単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		<ul style="list-style-type: none"> ・作品の出来具合や授業態度などを総合的に判断して評価する。 ・定期考査は行わない。 ・学期ごとに実技点・レポート・平常点を6：2：2の割合で評価する。 	
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料を必要とするため教材費（5000円程度）を徴収する。 ・定期考査は行わないので、積極的に授業に参加し、作品を必ず完成させること。 ・実習が中心であるので、完成するまで根気や集中力が必要である。 		